



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / ブドウ (加温、無加温、露地)

# 田中 祥勝さん (32歳) (営農地 / 鞍手郡鞍手町)

## 消費者に喜ばれるブドウ作りを目指して

《就農のきっかけ》

### 迷いなく後継者へ

ブドウ農家の長男として生まれ、幼い頃から農業(自然)に触れる環境で育った田中さん。農作業の手伝いは小学生の頃から始め、「将来はこのブドウ園を継ぐんだ。」と迷いもなく思っていました。

高校3年の進路相談の際に、県農業大学校があることを知り、果樹の知識を学ぶことも考えましたが、幅広い知識を身につけた方が良いとの父親のアドバイスを受け、県農業大学校指導科へ進むこととしました。県農業大学校の2年間では、農業基礎はもちろんのこと、流通や経済など幅広い知識を学ぶことが出来たそうです。

県農業大学校卒業後は、先進農家への研修も考えましたが、そのまま家に戻って就農し、後継者として現在に至っています。

《これまでの過程》

### 天候に大きく左右される農業

就農直後は、ブドウ作りの基礎を父親から手取り足取り教わりました。また、県農業大学校在学中にお世話になった県農業総合試験場の研究員から最新技術や品種などの情報をいただきながら経験・知識を深めていきました。

農業は自然が相手です。特に、天候に左右されることが多く、毎年同じようにはいかない困難さがあります。これまでで最も辛かったことは、3年前の長梅雨の時、収穫直前のブドウの大半が裂果して出荷出来なくなり、「もう農業は辞めようか」と思うほど落ち込まれたとのこと。しかし、このまま辞めたら毎年楽しみに我が家のブドウを待っている消費者の皆さんに申し訳ないと、家族一致団結して、苦難を乗り越えたそうです。

現在、本人と両親、パートさんで2.1haのブドウ園を経営しています。加温ハウス、無加温ハウス、露地がほぼ3分の1ずつあり、時期をずらして10品種ほどのブドウを栽培しています。今年は古くなったハウスの一部を県補助事業を活用して最新型のフルオープンハウスへ建て替えられる計画です。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母、本人 ■営農年数 / 約12年
- 従業員数 / 3名 ■耕作(経営)面積 / 2.1ha
- 販路 / Fコープ生協、直売、JA共販

《これからの展望》

### 直売部門の更なる拡大

就農した頃は巨峰を主体とした品種構成でしたが、少しずつ新しい品種を導入し、消費者の幅広いニーズに対応するよう努力されています。年々、ロコミで直売部門の売上は増加しており、将来は、現在の生協部門を超える売上を目指されています。

また、栽培面積は現状維持ですが、新しい技術(有核の短梢剪定)を積極的に取り入れたたり、加温ハウスの割合を増やして出荷時期を早めるなどの更なる工夫に取り組みられています。



### Good 成功のためのポイント

農業はやりがいがあります。しかし、作物だけを相手にするのではなく、天候や土壌、病害虫などの自然も相手にする必要があり、成功と失敗の繰り返しです。簡単には安定しませんが、誇りを持てる仕事です。